

私たち④「モンテッソーリ教師」～子どもの力を信頼し、自らが学ぶ手助けをする教師～についてお伝えしたいと思います。

子どもにとって大切な「人的の環境」の一つは「子どもの内面の要求を理解できる大人が周りにいること」です。子どもは生まれつきに「自ら成長する力を持っている」「子どもは自立したがっている」ということを最初にお伝えしていましたが、この「自立」へ向かうお手伝いをするのが、私たちの役割です。

例えば、1歳児が自ら食具を使って食べたいという要求に、遊びの中で手指をたくさん使える機会を与えることなど。私たちは、子ども一人一人の発達に応じた要求を見逃さず、子どもが次は何をしようかなと周りを見渡した時に、魅力的なものがある「環境」を用意することを大切にしています。そして子どもが活動に没頭し、大人の援助を必要としない場面では、一歩退いた態度をとり、子どもを信頼し見守るようにしています。



大きい子は特に、自分たちの生活が主体的に行えるように、一緒に行動しながら生活の仕方や、社会的なルールを繰り返し丁寧に伝えていきます。



ほうきの使い方を提供



教具の提供

また、モンテッソーリ教育の概念や教具の提供の仕方を専門の養成コースで習得し、日々保育の現場で子どもと関わりながら、園内外の研修で学びを深め、自己研鑽を重ねています。



園内で教具研修



オンライン研修

魅力的な環境を整え、子どもがやりたいと思うことを一人でできるように手伝える

「子どもの力を信頼し、自らが学ぶ手助けをする教師」でありたいと思っています。